

食材価格高騰への対応

1. 現状

- ・社会情勢の影響等により食材価格が高騰する中、児童生徒にとって必要な栄養量を満たし、適切に給食提供を行っていくため、2024年4月に1食当たりの給食提供単価を設定した。
- ・2025年度については、年度当初に設定した給食提供単価に、副食食材の価格高騰分を補うため補正予算を追加し、給食の質と量を維持している。
- ・保護者負担額は据え置き、給食提供単価との差額は公費で負担している。

【参考】2025年度の1食あたりの給食費

	給食提供単価	保護者負担額	公費負担額
小・特支学校	324円	260円	64円(+18円)
中学校	391円	170円	221円(+26円)

()は9月補正予算で追加した公費負担額

2. 食材価格の推移

(1) 精米

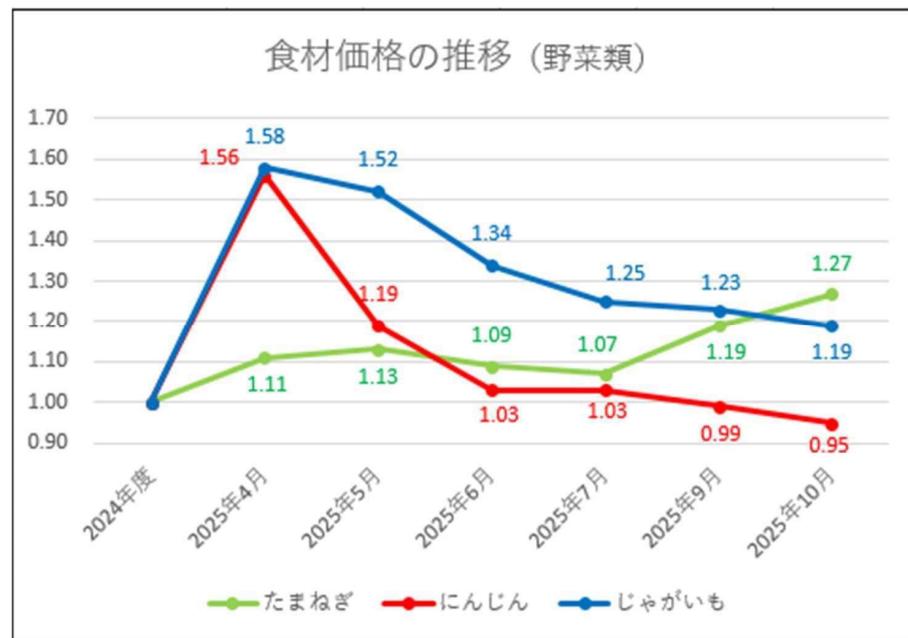
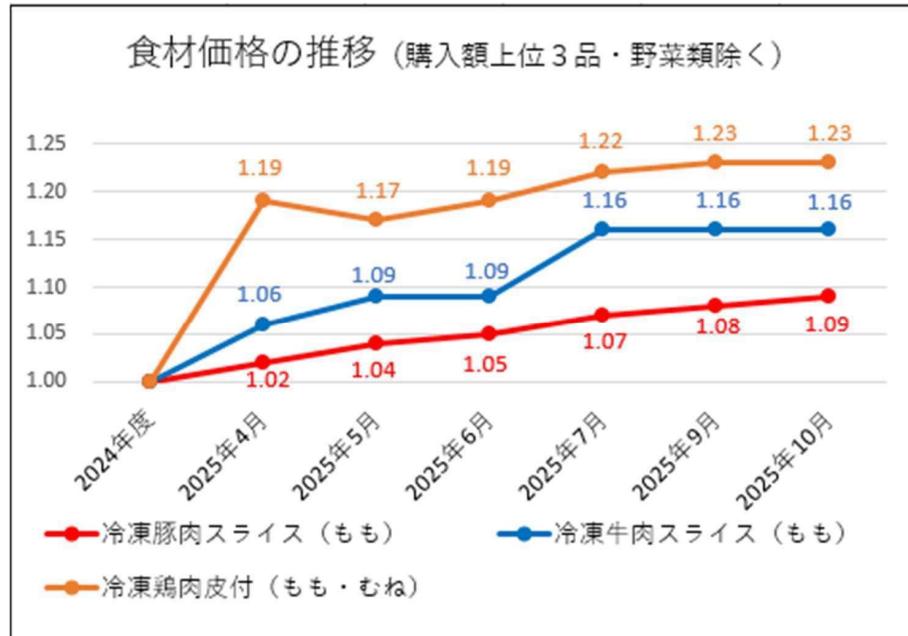
- ・コロナ禍における米の需要減少により下落していた精米価格は、1kgあたり年10~20円程度で上昇してきた。
- ・精米価格は、新米供給開始時点(12~2月頃)と4月時点に改定があり、今年度については2025年産の新米価格が約38%の上昇となっている。
- ・本市の給食用精米の2026年4月以降の価格についても、市場価格に連動した値上げが予想される。



(2)副食食材

- ・給食での取り扱いが多い 20 品目の購入単価について、2024 年度平均と比較して約 1.10 倍 (2025 年4月～9月実績と 2024 年度比)と上昇傾向となっている。

【個別品目の価格推移】※2024 年度の平均単価を1として算出



3. 課題と方向性

- ・今年度は、年度当初に設定した給食提供単価に、副食食材の物価高騰分を補うための補正予算を追加して対応している。昨年度と同様に精米価格の高騰が顕著であること等を踏まえ、来年度の給食提供単価を設定していく。

[参考①]給食提供単価(1食単価)の改定の推移

○小学校

年度	給食提供単価	改定幅	備考
1985	173 円	14 円	
1992	191 円	18 円	消費税(1989 年~3%)、食材価格上昇等
2000	215 円	24 円	消費税(1997 年~5%)、米穀補助廃止等
2007	233 円	18 円	食材価格上昇、米飯回数増等
2017	260 円	27 円	消費税(2014 年~8%)、食材価格上昇等
2024	310 円 ^{※1}	50 円	食材価格上昇
2025	324 円 ^{※1}	14 円	食材価格上昇

※1 保護者負担額は据置 260 円

○中学校

年 度			給食提供単価 ^{※3}	改定幅	備 考
	主食+副食	牛乳 ^{※2}			
~ 2019	244 円	56 円	300 円	—	
2020	280 円	57 円	337 円	37 円	給食費改定、牛乳選択制導入
2021	280 円	58 円	338 円	1 円	牛乳価格の変動
2022	280 円	60 円	340 円	2 円	牛乳価格の変動
2024	300 円	72 円	372 円	32 円	食材価格上昇、牛乳価格の変動
2025	317 円	74 円	391 円	19 円	食材価格上昇、牛乳価格の変動

※2 中学校の牛乳費は、学校給食費負担額を勘案して年度ごとに決定

※3 2020 年度からは半額助成を実施し、保護者負担額は 170 円据置

[参考②]本市の学校給食における食材高騰対策

・高騰する食材費の増額分を公費負担することで、保護者から給食費を追加徴収することなく、栄養

バランスのとれた学校給食を提供している。

2022 年度 607,584 千円(補正予算)

2023 年度 806,790 千円(当初予算・補正予算)

2024 年度 787,247 千円(当初予算)

2025 年度 1,216,841 千円(当初予算・補正予算)

[参考③]給食費1食単価の他都市の状況(2025 年度)

	政令指定都市平均	県内都市平均
小学校	322 円(290 円~363 円)	291 円(258 円~324 円)
中学校(牛乳を含む)	387 円(348 円~432 円)	338 円(308 円~391 円)

※県内都市は近隣 12 市の平均